

田中やすのり 区議会レポート

～地域課題への挑戦～

2016年4月発行

Vol.24



Q 学校周辺や通学路への防犯カメラの設置を

全52校の小学校に敷地内から通学路に向けて1台ずつ設置することになった。できれば各校に4-5台設置されることを想定していた。

東京都の補助制度がある内に早く増設をすべきと考える。



A 今後の設置については児童の安全、登下校時の安全・安心に期するために、通学路に拡大できるよう関係部署と十分に協議・連携し、検討を進めていく。

要望が実る



平成28年度に通学路における防犯カメラ増設の予算を獲得できました！各小学校に4台ずつ増設されます。約8,000万円の総事業費計上を予定しております。

Q 荒川の笹目橋付近における 河川氾濫・決壊への対策強化を！

笹目橋付近は重要水防箇所として危険度がBランクとなっている。Bランクとは過去に漏水の履歴はないが漏水が発生する恐れがある箇所で、所要の対策が未施工のままの箇所。今後の笹目橋付近の備えについて伺う。

A 笹目橋の橋の高さが低いために、堤防の高さの余裕高が不足している。板橋区としては、この部分の改善を国土交通省の河川を所管する部門と道路を所管する部門双方に要望しているところであり、これからも機会あるごとに働きかけを行って参ります。



堤防よりも低い笹目橋

Q 危険な自転車通行・運転への実効性のある対策を！

＜①商店街内での危険な自転車運転への対策＞
 大山ハッピーロード商店街での取り組みを参考して、商店街内では自転車の通行を時間帯によっては手押しなど制限するように求める声が多く寄せられています。区の施策としての可能性は？東京都に商店街振興施策としての予算要望をしてほしい。



三園共栄会付近の三園通り

＜②長い坂が続く危険地域での対策＞
 坂道が長く続くエリアの対策について伺う。三園共栄会付近の三園通りは非常に長い坂道が続くためかなりスピードが出てしまう。歩行者にとっては危険な状況。和光市方面への川越街道においては放置自転車もあり、歩行できる道幅が狭い。歩行者と自転車通行がすれすれの状態であり、駐輪対策も含めて今後の対応の強化を要望する。



川越街道（和光方面）

A ①大山ハッピーロード商店街などは商店街側が自主的に行っている規制であり、区としてはそれに伴う費用の補助については予定していない。他の商店街でも実施できるように、商店街連合会と連携して対応して参りたい。

②坂が長いなど危険な地域への対応は、板橋区では注意喚起のための巻き看板を設置したり、道路標示や路面の改修などで自転車走行の安全を推進している。自転車は車道寄りを徐行しなければならないルールの区民周知を図っていく。

要望が実る



川越街道の成増白子坂については、交通管理者である国と放置自転車対策（駐輪スペース設置）の協議が進んでおります。平成28年度中の新たな駐輪スペースの新設を目指しています。

Q 東上線の踏切は危険な状態。当面の対策としては地下道の整備を！

踏切が開いていない遮断時間が非常に長い。車も人も踏切を渡りきれない危険な状況も何度も目にしている。東上線の立体化が実現するまでの当面の対策としては地下道の整備を求める。

■東上線駅前踏切遮断時間	遮断時間 (1時間最大)
成増第2踏切	46'11"
成増第1踏切	48'26"
下赤塚駅前	44'04"
東武練馬駅前	47'20"

A 連続立体化以外の個々の踏切対策については、人命尊重の関係、それから利便性向上の観点からその実効性を含めて慎重に検討していきたい。